

## 2025年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社サンフェステ 上場取引所 東  
コード番号 5881 URL <https://www.sunfeste.co.jp/>  
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）九里 亨  
問合せ先責任者（役職名）専務取締役（氏名）大西 正浩 TEL 0771 (21) 1818  
中間発行情報提出予定日 2024年12月27日 配当支払開始予定日 -  
中間決算補足説明資料作成の有無：無  
中間決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期中間期の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）連結経営成績

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,142	-	24	-	16	-	△38	-
2024年3月期中間期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △38百万円（-％） 2024年3月期中間期 -百万円（-％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△176.14	-
2024年3月期中間期	-	-

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 当社は、2025年3月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。  
3. 当社は、2024年7月9日付でミヤコフーズ株式会社の全株式を取得し、連結子会社としたため、同社及びその子会社であるミヤコフードプロダクト株式会社を連結の範囲に含めております。なお、2024年8月31日をみなし取得日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3か月を超えないことから、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	3,894	270	6.9	1,228.14
2024年3月期	-	-	-	-

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 270百万円 2024年3月期 -百万円

（注）当社は、2025年3月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年3月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	0.00	25.00	25.00
2025年3月期	0.00	-	-
2025年3月期（予想）	-	25.00	25.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2. 2024年3月期期末配当内訳 普通配当19円 記念配当6円

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年3月期の業績予想につきましては、現時点で当社として合理的な算定・予想を行うことが出来ておりません。開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) ミヤコフーズ株式会社 除外 1社 (社名) -  
ミヤコフードプロダクト株式会社

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	220,000株	2024年3月期	220,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1株	2024年3月期	1株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	220,000株	2024年3月期中間期	220,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。
2. 当社は、2024年7月9日付でミヤコフーズ株式会社の全株式を取得いたしました。これに伴い、2025年3月期中間期より中間連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 経営成績等の概況

当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当社は、2024年7月9日付でミヤコフーズ株式会社の全株式を取得し子会社化したため、同社及びその子会社であるミヤコフードプロダクト株式会社を連結の範囲に含めております。なお、2024年8月31日をみなし取得日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3か月を超えないことから、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、経済活動の正常化による人流の活性化、インバウンド需要の回復、所得環境改善等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の激化、不安定な為替の変動や、原材料・エネルギーコストの高騰など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する小売業界におきましても、需給バランスや価格高騰に伴う原材料価格の変動、様々なコストの上昇傾向や人手不足による採用難など、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社では積極的な売上拡大を計画し、業務スーパーFC本部である株式会社神戸物産とタッグを組み、これまでの業務スーパーには無い狭小店舗運営に着手、新たな切り口で店舗をオープンしました。また7月9日には主に百貨店などでサラダを中心とする惣菜を販売しているミヤコフーズ株式会社、その子会社で製造部門のミヤコフードプロダクト株式会社の全株式を取得し子会社といたしました。当社の既存事業の更なる発展の一翼を担うために、今後子会社とのコラボレーションを進めてまいります。また既存店におきましても、物価上昇傾向の下、節約志向の消費者の支持を得た業務スーパー事業が好調に売上高を伸ばしております。かつや及びコマダ珈琲店におきましても、原価の上昇による値上げを、お客様に理解して頂けた結果、売上高を大きく伸ばしております。一方、競合店の出店等に伴い経営環境が悪化した店舗において減損損失を計上したため、税金等調整前中間純損失となっております。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は7,142百万円、営業利益は24百万円、経常利益は16百万円、親会社株主に帰属する中間純損失は38百万円となりました。

また、当社における報告セグメントは、小売事業のみであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は1,579百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金577百万円、売掛金463百万円、商品及び製品379百万円であります。

##### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は2,314百万円となりました。主な内訳は、建物及び構築物857百万円、敷金及び保証金442百万円、土地331百万円、のれん139百万円、器具及び備品118百万円であります。

##### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は1,593百万円となりました。主な内訳は、買掛金606百万円、1年以内返済予定長期借入金259百万円、短期借入金250百万円であります。

##### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は2,030百万円となりました。主な内訳は、長期借入金1,796百万円であります。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は270百万円となりました。主な内訳は、資本金90百万円、資本剰余金30百万円、利益剰余金147百万円であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、273百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因につきましては、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、74百万円となりました。主な内訳は、預け金の減少額84百万円、減価償却費77百万円、減損損失64百万円等であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、346百万円となりました。主な内訳は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取

得による支出148百万円、有形固定資産の取得による支出130百万円、定期預金の預入による支出33百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、408百万円となりました。主な内訳は、長期借入による収入327百万円、短期借入金の増加200百万円、長期借入金の返済による支出88百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月9日にミヤコフーズ株式会社の株式を取得したことにより、同社及びその子会社であるミヤコフードプロダクト株式会社を連結子会社として当中間連結会計期間から連結決算に移行しております。2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月14日に公表いたしました2024年3月期決算短信において当社単体決算における業績予想を開示いたしましたが、連結決算移行に伴い、現在連結業績予想を算定中であるため未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

### (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	577,730
売掛金	463,238
商品及び製品	379,517
仕掛品	27,523
原材料及び貯蔵品	10,503
その他	122,305
貸倒引当金	△1,161
流動資産合計	1,579,656
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物 (純額)	857,904
機械装置及び運搬具 (純額)	563
器具及び備品 (純額)	118,462
土地	331,010
リース資産 (純額)	76,061
建設仮勘定	18,330
有形固定資産合計	1,402,332
無形固定資産	
ソフトウェア	1,710
リース資産	28,500
のれん	139,495
無形固定資産合計	169,705
投資その他の資産	
投資有価証券	15,234
出資金	8,540
敷金及び保証金	442,061
繰延税金資産	93,926
その他	182,984
投資その他の資産合計	742,746
固定資産合計	2,314,783
資産合計	3,894,440

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (2024年9月30日)	
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	606,203
短期借入金	250,000
1年以内返済予定長期借入金	259,938
リース債務	47,622
未払金	93,504
未払費用	148,645
未払法人税等	381
未払消費税等	28,029
預り金	101,375
賞与引当金	32,266
契約負債	25,194
その他	627
流動負債合計	1,593,789
固定負債	
長期借入金	1,796,079
リース債務	83,378
役員退職慰労引当金	76,334
退職給付に係る負債	21,200
資産除去債務	33,166
その他	20,302
固定負債合計	2,030,461
負債合計	3,624,250
純資産の部	
株主資本	
資本金	90,000
資本剰余金	30,000
利益剰余金	147,920
株主資本合計	267,920
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,269
その他の包括利益累計額合計	2,269
純資産合計	270,190
負債純資産合計	3,894,440

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,142,112
売上原価	5,735,787
売上総利益	1,406,324
販売費及び一般管理費	1,381,659
営業利益	24,665
営業外収益	
受取利息	26
受取配当金	304
受取家賃	2,400
業務受託収入	1,692
リサイクル収入	877
その他	962
営業外収益合計	6,263
営業外費用	
支払利息	13,757
支払手数料	803
その他	229
営業外費用合計	14,789
経常利益	16,139
特別損失	
減損損失	64,253
特別損失合計	64,253
税金等調整前中間純損失(△)	△48,114
法人税等	△9,362
中間純損失(△)	△38,752
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△38,752



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△38,752
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	126
その他の包括利益合計	126
中間包括利益	△38,625
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△38,625

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	
当期首残高	90,000	30,000	192,172	312,172
当中間期変動額				
剰余金の配当			△5,500	△5,500
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)			△38,752	△38,752
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	-	-	△44,252	△44,252
当中間期末残高	90,000	30,000	147,920	267,920

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,142	2,142	314,315
当中間期変動額			
剰余金の配当			△5,500
親会社株主に帰属する 中間純損失(△)			△38,752
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	126	126	126
当中間期変動額合計	126	126	△44,125
当中間期末残高	2,269	2,269	270,190

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前中間純損失 (△)	△48,114
減価償却費	77,154
差入保証金償却額	2,414
減損損失	64,253
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	167
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,763
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,326
受取利息及び受取配当金	△331
支払利息	13,757
売上債権の増減額 (△は増加)	35,395
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△50,992
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,949
預け金の増減額 (△は増加)	84,397
未払金の増減額 (△は減少)	△24,724
未払費用の増減額 (△は減少)	△647
契約負債の増減額 (△は減少)	△148
その他	△43,363
小計	113,359
利息及び配当金の受取額	331
利息の支払額	△14,416
法人税等の支払額	△24,951
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,323
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△33,002
投資有価証券の取得による支出	△718
有形固定資産の取得による支出	△130,117
敷金及び保証金の差入による支出	△28,697
保険積立金の増加による支出	△6,630
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△148,995
その他	1,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△346,227
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000
長期借入による収入	327,000
長期借入金の返済による支出	△88,400
リース債務の返済による支出	△26,759
配当金の支払額	△5,500
その他	1,746
財務活動によるキャッシュ・フロー	408,086
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	136,183
現金及び現金同等物の期首残高	137,061
現金及び現金同等物の中間期末残高	273,244

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当中間連結会計期間において、ミヤコフーズ株式会社の全株式を取得し子会社化したため、同社及びその子会社であるミヤコフードプロダクト株式会社を連結の範囲に含めております。なお、2024年8月31日をみなし取得日としており、かつ、中間連結決算日との差異が3か月を超えないことから、当中間連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しております。

(重要な後発事象)

(共通支配下の取引等)

(連結子会社間の合併)

当社は、2024年7月10日開催の臨時取締役会において、当社の連結子会社であるミヤコフーズ株式会社を存続会社とし、同じく連結子会社であるミヤコフードプロダクト株式会社を消滅会社とする吸収合併を行う事を決議し、2024年10月1日を効力発生日として両社は合併いたしました。

本合併は、当社の連結子会社同士の合併であるため、本合併による新株式の発行、資本金の増加及び合併交付金、その他の一切の対価の交付はありません。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

①結合当事企業の名称

ミヤコフーズ株式会社

②事業の内容

総菜販売業

③被結合企業の名称

ミヤコフードプロダクト株式会社

④事業の内容

惣菜製造業

(2) 企業結合日

2024年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

ミヤコフーズ株式会社を存続会社、ミヤコフードプロダクト株式会社を消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

ミヤコフーズ株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、事業活動の一本化による経営体制の強化、業務の効率化による生産性の向上、経営資源の共有と有効活用など、成長の加速と収益性の向上を目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(新規出店)

1. 当該事象の内容

(1) 当該事象の概要

当社は、新規出店について2024年10月15日開催の取締役会において決議のうえ承認いたしました。

(2) 出店店舗の概要

出店地域	滋賀県
業種	小売業
取扱商品	食品、酒類、惣菜
出店面積	993.6㎡
開業時期	2025年3月

周辺地区における人口・就業状態等の調査結果から、業務スーパー運営に適した商圈であると判断しました。

2. 当該事象の財務諸表に与える影響額

当連結事業年度に与える影響につきましては、新規出店に係る投資額等が約386,026千円、年間売上は11,758千円を見込んでおります。